

## 新庁舎建設にかかる代替案比較表

区分		代替案①	代替案②	代替案③	
		くすのきホールを改修し、新庁舎に転用	現庁舎の位置で建替え	保健センターを改修し、新庁舎に転用	
所	在 地	千早赤阪村大字水分263番地他	千早赤阪村大字水分180番地他	千早赤阪村大字水分195番地の1他	
敷	地 面 積	9,353㎡	2,533㎡	1,300㎡	
延	床 面 積	2,444㎡	1,624㎡	1,804㎡	
想定事業費 (概算)(千円)	庁舎建設経費	基本設計・実施設計委託等	43,000	43,000	63,000
		新庁舎建設工事(外構工事含む)	0	645,000	470,000
		くすのきホール、郷土資料館又は保健センター改修工事	595,000	0	85,000
		現庁舎撤去工事	0	75,000	75,000
		設計監理委託	17,856	19,381	16,701
	附属整備費	既設擁壁やり替え工事	0	10,000	10,000
		急傾斜地対策工事	0	6,180	6,180
		飲料水型防火水槽	0	39,000	39,000
	その他経費	備品購入費	10,000	10,000	10,000
		電算移設費	11,000	22,000	22,000
		防災無線等移設費	49,211	98,422	98,422
		アクセス対策費	633,268	0	0
		その他(引越経費など)	14,780	20,780	50,442
	消費税10%見込み		137,412	98,876	94,575
合 計		1,511,527	1,087,639	1,040,320	
財源内訳 (千円)	地 方 債	911,527	475,784	428,465	
	国 庫 支 出 金	0	11,855	11,855	
	府 支 出 金	0	0	0	
	そ の 他 の 収 入	0	0	0	
	財 源 調 整 基 金	500,000	500,000	500,000	
	一 般 財 源	100,000	100,000	100,000	
【庁舎建替え、地方交付税で支援】 ★ 国が熊本地震を受け災害対応拠点となる庁舎の建替えに発行した地方債の元利償還金の一部を地方交付税で措置する方針を表明。平成29年度からの実施を目指す。					
主 な メ リ ッ ト		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設の改修のため建設経費の抑制が期待できる。</li> <li>建設工事期間が短い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスに近くアクセスが良い。住民の利便性が高い。</li> <li>市街化区域内にあり、既存施設が集積しているなど村の中核的な役割を果たす立地にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスに近くアクセスが良い。住民の利便性が高い。</li> <li>市街化区域内にあり、既存施設が集積しているなど村の中核的な役割を果たす立地にある。</li> </ul>	
主 な デ メ リ ッ ト		<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス対策として現村道の拡幅は、地理的条件(がけ地など)から道路基準を満たすことが困難。新設道路の整備とするが、実現性が低い。</li> <li>くすのきホール機能の縮減により、住民利用スペースが減少。</li> <li>くすのきホールの建築後24年が経過しており、耐用年数(65年)が新設に比べ短い。用途変更により補助金の返還が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急傾斜地崩壊危険区域内にあるが、擁壁対策工事済。より安全性確保のため擁壁補強工事を行う。</li> <li>駐車スペースなど敷地面積が狭い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急傾斜地崩壊危険区域内にあるが、擁壁対策工事済。より安全性確保のため擁壁補強工事を行う。</li> <li>改修可能な範囲に限られ、十分な執務室の確保が困難。また改修により保健センターで行う保健事業(健康診断など)のスペースがなくなることから他施設を利用するなど非効率となる。</li> <li>保健センターは建築後20年が経過しており、耐用年数(65年)が新設に比べ短い。用途変更により補助金の返還が必要。</li> <li>駐車スペースなど敷地面積が狭い。</li> </ul>	